

小学校統合準備委員会だより

No.1



問い合わせ先
 学校教育課総務係（豊田支所内） ☎（38）3112（内線550）

第1回中野市小学校統合準備委員会を開催しました

小学校の統合を円滑に行うために必要な事項を検討し、調整する中野市小学校統合準備委員会を1月31日、豊田文化センターで開催しました。統合準備委員会は、北部地区（長丘、平岡、科野、倭小の統合）ならびに豊田地域（豊井、永田小の統合）にそれぞれ設置しました。

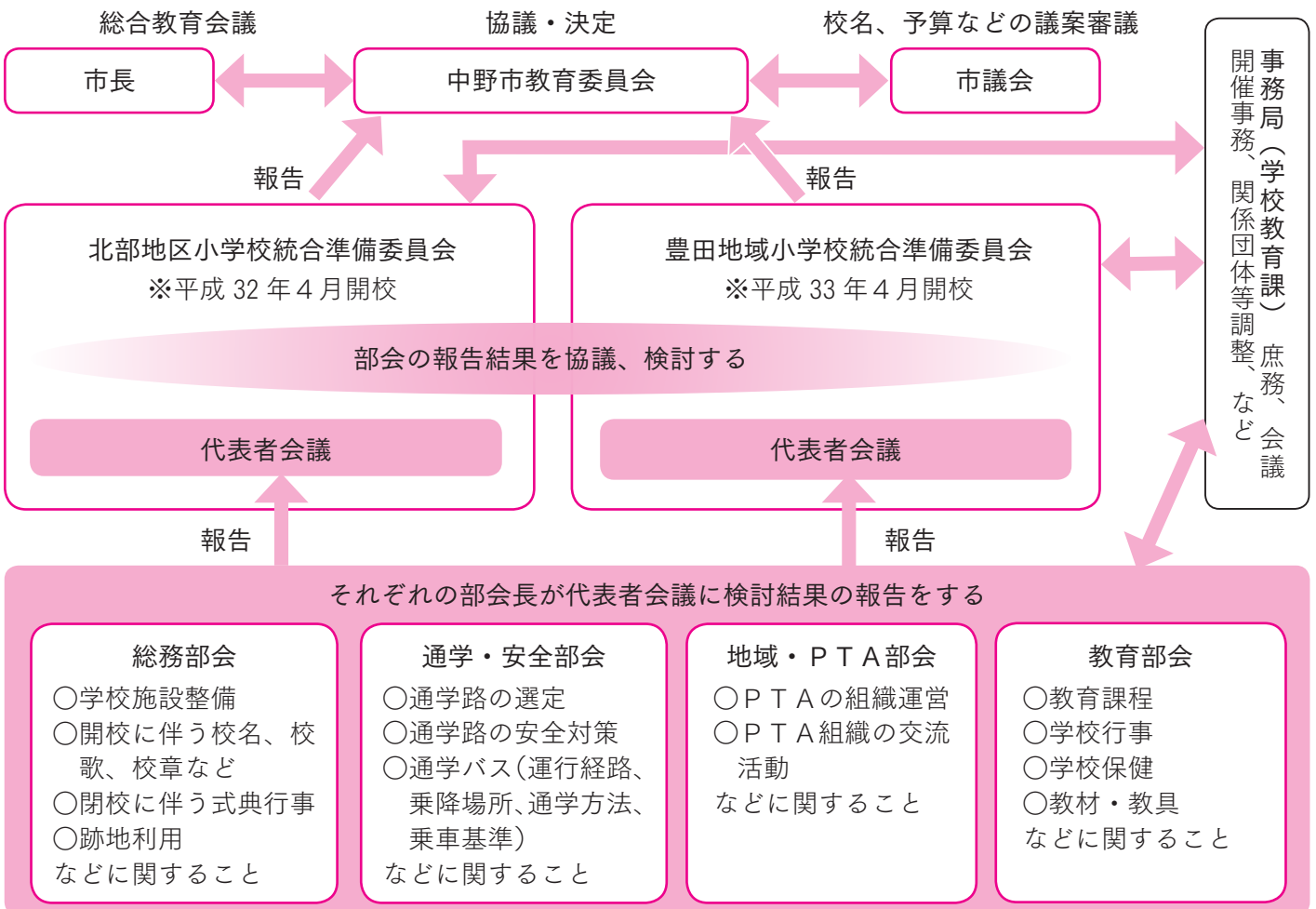
○当日行われたこと

- ・ 北部地区および豊田地域統合準備委員会の委員長の選出と職務代理の指名
- ・ 運営方法の確認
- ・ 専門部会の設置
- ・ スケジュール予定の説明
- ・ 専門部会長と構成員の指名

○委員（1月31日現在）

- ・ 北部地区 44人
 - ・ 豊田地域 24人
- ※統合に関係する学校の教職員や保護者、歴代保護者、保育園児の保護者、地域住民代表、公募に応じた市民で組織しています。

今後は、それぞれの統合小学校の開校に向けて必要な事項の検討を進めていきます。検討、調整した内容は、随時お知らせしていく予定です。また、統合に係る課題の調整や検討を効率的に行うため、下図のとおり、4つの専門部会を設け、部会ごとに協議を重ねていきます。



公共施設の 現状を考える

～中野市を次世代へつなぐために～

公共施設縮減目標 △20% を目指して



公共施設とは

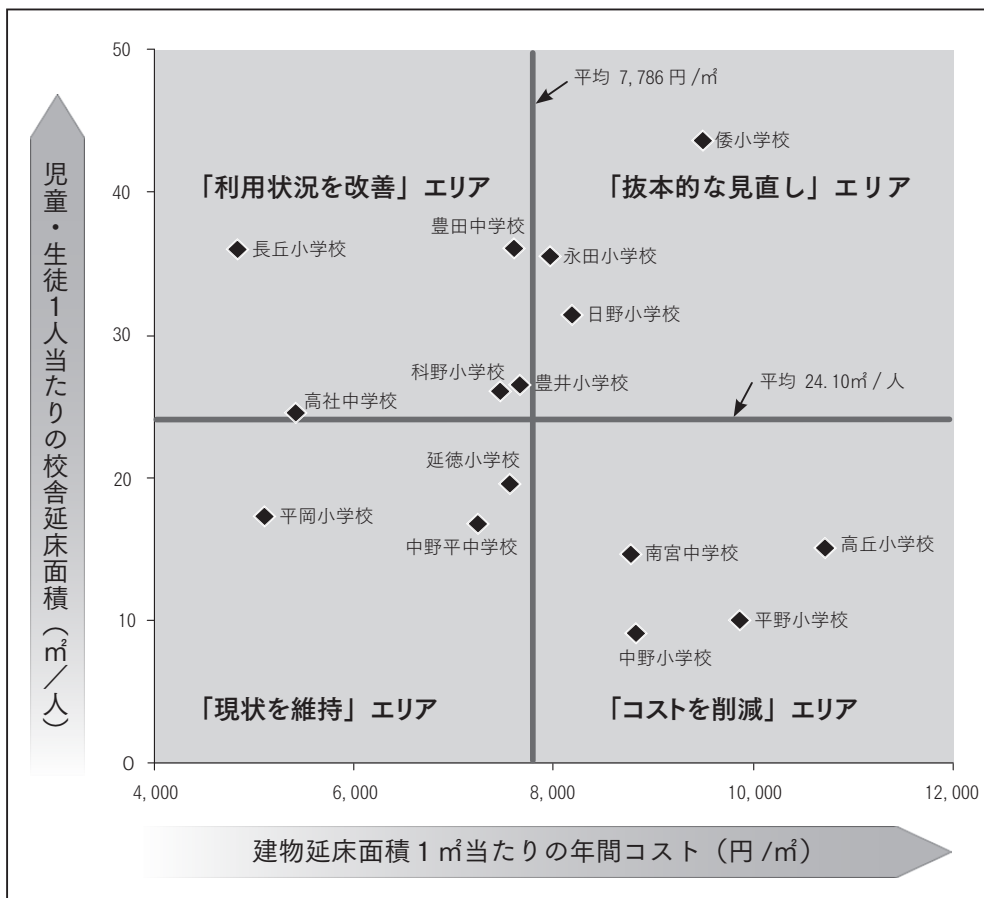
国や地方自治体が建設する施設。中野市公共施設白書では、公民館や図書館など市が保有する建物や、公園など広く市民が利用する施設を対象としています。

問い合わせ先 政策情報課行政管理係

☎(22)2111 (内線401)

施設の現状について、「ポートフォリオ分析」を用いてお知らせします。今回の分析の対象となる施設は、学校教育系施設です。

▼学校教育系施設のポートフォリオ分析



ポートフォリオ分析

対象となる項目に共通する2つの指標の組み合わせにより、その要素が平面上のどのエリアに配置しているか分析し、重要性の高い項目を抽出する方法

※本分析のエリア分けには、対象施設(類型施設)の平均値を活用する。(施設の分類は、中野市公共施設白書に基づく)

市全体の児童生徒数の減少傾向および各通学区内の児童生徒数に偏りがあることから、小中学校1校当たりの児童生徒数には、ばらつきがあります。また、一定の人員費が児童生徒数に関わらず発生するため、延床面積1平方メートル当たりのコストは施設規模の影響を受けます。

小中学校ともに、平成27年度から体育館や教室の照明の老朽化に対応し、コストの縮減を図るため、LED照明への交換を随時実施しています。この取り組みにより、平成37年度までに電気使用量を10%削減します。

小学校については、児童のよりよい教育環境整備と教育の質の向上の充実を目的として、北部地区の4小学校と豊田地域の2小学校の統合を行う基本方針を平成28年9月に策定しました。

※詳細については、右記ページをご覧ください。

※中野市立小学校および中学校適正規模等基本方針は市公式ホームページ(下記QRコード(下リンク先))でご覧いただけます。



▲QRコード